

令和6年度 横浜市芹が谷地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

新型コロナウイルスの影響で中止していた地域の活動は再開され、活発になっています。高齢化率の上昇速度は緩やかになってきていますが、介護保険の要支援認定者は増えている状況です。生活を支えるための歩行を維持していくためにフレイルの予防や改善や閉じこもりを予防するための居場所づくりが課題となります。地域のコミュニティへの支援や医療機関、福祉施設との連携をすすめていきます。

☐ 今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

- | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--|
| ☐ | ☒ | 第4期地域福祉保健計画の話し合いの場を設け、テーマを設定し、住民が主体となって振り返りをする場を構築する。 |
| ☐ | ☒ | 3つの町内会館を活用した、0歳児の保護者と子どもを対象とした、「あかちゃんひろば」の開催が継続できるように5職種で連携して支援を行う。 |
| ☒ | ☐ | 芹が谷地域ケアプラザにおいて、平戸地域ケアプラザと共催で、区の垣根を超えた交流を目的とした介護予防普及啓発事業を開催する。 |
| ☒ | ☐ | 既にコグニサイズの活動をしている団体が、社会参加の機会を与えられる担い手として活動出来るよう、コグニサイズ体験会を実施する。 |
| ☐ | ☒ | 様々な立場、世代にケアプラザの周知をすることを目的に、ホームページやツイッター、広報誌等を活用した周知を毎月定期的に行う。ケアプラザ祭りを開催し、日頃来館の少ない児童にケアプラザの周知を行う。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

・各地区の支えあいネットワークを用いて振り返りの場としての機能と第5期策定の皮切りとすることができた。今後、連合の定例会等を活用して、都度振り返りを行っていく。

・毎月「赤ちゃん広場」を開催し、関係者とも振り返りや情報交換を定期的に行っている。また、4つの子育て支援に携わっている機関と打ち合わせを行い、芹が谷連合と永谷連合の子育て情報が載った「子育てマップ」を現在作成している。

・全4回のプログラムで平戸地域ケアプラザと共催で介護予防普及啓発事業を実施した。20名募集し、34名の参加があった。終了後平戸地域の方が6名芹が谷地域ケアプラザの事業に参加している。

・フェニックス(団体)、ケアプラザ、神奈川県立精神医療センターが連携し、社会参加を促進するために2回のコグニサイズ体験会を実施しました。参加者は合計12人で、そのうち約5人が新規メンバーとして加わりました。メンバーが中心となり、団体設立の経緯やコグニサイズの実施方法を説明し、参加者の自己肯定感や生きがいの向上、社会とのつながりを深める良い機会となった。

・6月29日に地域、NPO団体、やまゆり園、神奈川県立精神医療センター等の協力でケアプラザ祭りを実施し、300名ほどの来館があった。広報誌や学校へのチラシ配布、ホームページ等を活用した周知により、日頃来館の少ない子育て世代や児童が半数以上を占めた。

☐ 区からのコメント

学校や精神医療センター、民生委員や活動団体との連携など、日頃からあらゆる相談を受け止められるよう各分野との関係づくりにご尽力いただき、感謝いたします。また、区境に位置する環境から、近隣区の住民の思いにも寄り添い、他区の地域ケアプラザと共催で介護予防普及啓発事業を展開するなど、区の垣根を超えた地域ケアプラザ間の交流を実施していただいたことは大変素晴らしいことです。

ケアプラザ祭りには多くの親子連れが参加しており、普段あまりケアプラザに馴染みのない子育て世代への認知度向上に繋がったのではないかと思います。ちょっとしたきっかけから、地域福祉のキーパーソンになりうる方を発掘し、活動の幅がさらに広がっていくことを期待しています。

認知症サポーター養成講座の開催や、コグニサイズ体験会の実施など、地域における認知症理解の促進と予防活動の展開ができたと思います。今後も幅広い世代や職種に向けた啓発活動をよろしくお願いいたします。また、事例検討会や地域ケア会議の開催を通してケアマネジャーと医療・介護関係者、地域住民との顔の見える関係づくりが進められており、他職種連携の基盤構築に繋がりました。今後も継続的に取り組んでいただきますよう、よろしくお願いいたします。